

サントリーホールディングス株式会社 2025年12月期中間決算 説明内容

説明者：サントリーホールディングス株式会社

常務執行役員 有代 雅人

平素から私どもの活動に対して多大なご支援を賜り、心より御礼申し上げます。
私から、2025年中間決算について説明をさせていただきます。

①当社業績について

サントリーグループの売上収益は、

酒税込みの売上収益が、1兆6,176億円、前年同期比1.9%減

酒税を除いた売上収益が、1兆4,563億円、前年同期比2.2%減

営業利益は、1,296億円、前年同期比30.6%減

事業の利益をはかる指標となる、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いた、

調整後営業利益は、1,417億円、前年同期比14.5%減

親会社の所有者に帰属する中間利益は、

596億円、前年同期比35.7%減となりました。

売上収益は、海外の主要市場における市況悪化の影響を受け、前年を下回りました。営業利益、親会社の所有者に帰属する中間利益につきましては、関係会社売却の影響と積極的なマーケティング投資により、前年を下回りました。

②事業の動向について

セグメントごとにご説明いたします。

〈飲料・食品セグメント〉

売上収益が、8,023億円、前年同期比1.4%減

営業利益は、839億円、前年同期比9.0%減となりました。

詳細は、昨日サントリー食品インターナショナル社が発表したとおりです。

〈酒類セグメント〉

酒税込みの売上収益は、6,525億円、前年同期比1.8%減

酒税を除いた売上収益は、4,916億円、前年同期比2.4%減

営業利益は、716億円、前年同期比32.9%減となりました。

国内では、スピリッツ、ビール、ワインの全ての事業で売上収益が前年を上回り、堅調でしたが、海外での需要減退などにより、酒類セグメント全体では減収減益となりました。

事業別にご説明させていただきます。

スピリッツ事業は、酒税込み・酒税控除後の売上収益が、ともに前年を下回りました。エリアでは、日本、中国、インドにおいて売上が堅調に推移しましたが、米国、欧州で経済低迷を背景とする消費鈍化の影響を受けました。

ウイスキーでは、国内で「角瓶」ブランドの販売数量が前年同期を上回りました。「角瓶」は、世界的な酒類コンペティション「I S C 2 0 2 5」において、ジャパニーズウイスキー部門で2年連続のゴールドを受賞。7月からは蒼井優さんを起用し、新しいマーケティング活動を展開しております。

ジンでは、「R O K U 〈六〉」ブランドがご好評いただき、国内の販売数量は前年同期比29%増と大きく伸長しました。また、サントリー大阪工場への設備投資を行い、生産能力増強および品質向上に取り組んでいます。

R T Dは、国内で「-196無糖」シリーズの販売数量が前年同期比67%増と大きく伸長しました。また、ビールとR T Dの併飲層に着目した新商品「T H E P E E L 〈レモン〉」の発売により、新需要創造にも取り組みました。

海外では、R T Dの最大市場である米国での「-196」の全米展開や新フレーバーの発売、「オンザロックス」の缶商品の新発売などにより、新たな顧客の獲得に努めました。また、オーストラリアでは、酒類事業と食品事業の協業のもと建設したスワンバンク工場においてR T Dの出荷を、この7月から開始しています。

ブランド別には、ジャパニーズウイスキーの「山崎」「響」「T O K I」、ジャパニーズクラフトジンの「R O K U 〈六〉」、R T Dの「-196」「オンザロックス」、インド市場向けウイスキーの「オークスマス」などが前年を上回る結果をおさめました。

続いて、ビール事業です。

国内での販売数量は前年同期並となりました。酒税改正により拡大するビールカテゴリーは、前年同期比3%増と伸長しました。「サントリー生ビール」ブランドは、中味への高い評価に加え、昨年からの業務用でのお客様接点拡大などにより、販売数量が前年同期比24%増となりました。「パーフェクトサントリービール」ブランドは、リニューアルにより向上した飲みごたえや、新パッケージもご好評いただき、販売数量は前年同期比19%増となりました。「金麦」ブランドは、旬の食材や料理と合わせて楽しむ提案を強化し、市場トレンドを上回りました。

また、1月にノンアルコールマーケティングを統括する「ノンアル部」を新設しました。ノンアルコール飲料を“アルコール0.00%のお酒”と位置づけ、お酒が持つ価値や魅力を伝える活動を強化しています。4月に発売したサワーテイストの「オールフリー クリア」は、爽快なおいしさがご好評いただいています。

〈その他セグメント〉

酒税込みの売上収益は、1,628億円、前年同期比5.0%減

酒税を除いた売上収益は、1,624億円、前年同期比5.0%減

営業利益は、113億円、前年同期比48.8%減となりました。

営業利益の減少は、関係会社売却損の計上によるものです。

③2025年の見通しについて

最後に、2025年の年間業績見通しについてですが、今年2月に発表した計画から変更はございません。

世界経済は不透明で不確実性が高く、企業をとりまく経営環境は厳しい状況にありますが、今後もサントリーグループ一丸となって、新たな価値を創造し続けることで、持続的な成長を目指してまいります。

私からの説明は以上です。今後とも、ご指導、ご支援をよろしくお願ひいたします。
本日はありがとうございました。

以上